

授業科目	*ヘルスアセスメント演習				実務家教員担当科目	○	
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	長崎 恵美子						
授業概要	<p>実務家教員として、病院での臨床経験と大学での看護学教育の経験を生かして、看護における「ヘルスアセスメント」することの意義と方法、範囲を示し、看護の対象である生活者の身体的・心理的・社会的状態を把握するために必要な観察・アセスメント能力やフィジカルイグザミネーション技術について概説する。</p> <p>まず「生きている」をアセスメントするうえで必要な「呼吸器系」「循環器系」及び「消化器系」について、次に「生きていく」をアセスメントするうえで必要な「感覚器系」「神経系」及び「骨格系」について具体的に学修し、実践能力を身につける。特に、スクリーニングの基本である「バイタルサイン測定技術」については、看護の基本技術としての確実性を目指す。演習を通して、学生同士で正常な状態を観察後、シミュレーターを用いて異常な状態の観察を行い、その違いについて判断する能力を養う。</p>						
授業形態	講義、演習			授業方法			
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> ヘルスアセスメントについて概ね説明できる。 身体的・心理的・社会的側面からアセスメントすることの意義と目的を概ね説明できる。 各系統別のフィジカルアセスメントに必要な技術（問診・視診・触診・打診・聴診）方法と実施上の留意点を記述もしくは安全に実施できる。 観察した複数の結果から対象者の状態を既習の知識を活用してアセスメントできる。 バイタルサイン測定を対象者の状態に応じて工夫し、安全・確実に実施できる。 ヘルスアセスメントを行ううえで対象者の気持ちを汲み取りながら、必要な倫理的配慮や態度、姿勢を自ら考えながら対応できる。 事前学習や課題、自己練習に取り組み、意見交換を通して学びを深めることができる。 						
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> ヘルスアセスメントについての的確に説明できる。 身体的・心理的・社会的側面からアセスメントすることの意義と目的を的確に説明できる。 各系統別のフィジカルアセスメントに必要な技術（問診・視診・触診・打診・聴診）方法と実施上の留意点を具体的に記述もしくは安全・確実に実施できる。 観察した複数の結果を総合的に捉え、対象者の状態を既習の知識を活用して論理的にアセスメントできる。 バイタルサイン測定を対象者の状態に応じて工夫し、安全・安楽・確実に実施できる。 ヘルスアセスメントを行ううえで対象者の気持ちを汲み取りながら、必要な倫理的配慮や態度、姿勢を自ら考えて実施に反映できる。 事前学習や課題、自己練習に主体的に取り組み、日々の振り返りを行いながら創意工夫し、意見交換を通して学びを深めることができる。 						
評価方法・評価割合							
評価方法			評価割合（数値）			備考	
試験			60%				

小テスト											
レポート					10%						
発表（口頭、プレゼンテーション）					20%						
レポート外の提出物					10%						
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU11206J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
予習：配布の事前課題、基礎看護技術 I 該当部分の通読、形態機能学の復習、動画視聴 復習：講義内容の整理、まとめノートの活用、事後課題、演習の要点を整理、自己練習										1	
授業計画											
第 1 回	【本科目のガイダンス】 【ヘルスアセスメント概説】 ・ヘルスアセスメントの目的と重要性 ・フィジカルアセスメントの基本手技 [講義：長崎恵美子]										
第 2 回	【バイタルサイン測定】 ・バイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧・意識状態）を観察する意義 ・バイタルサインのアセスメントの視点 ・バイタルサイン測定方法の留意点と根拠 [講義：長崎恵美子]										
第 3 回	【バイタルサイン測定】 ・体温・脈拍・呼吸の観察 ・血圧測定（触診法と聴診法） ・パルスオキシメーターによる経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）測定 ・バイタルサイン測定結果のアセスメント [演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]										
第 4 回	【バイタルサイン測定】 ・体温・脈拍・呼吸の観察 ・血圧測定（触診法と聴診法） ・パルスオキシメーターによる経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）測定 ・バイタルサイン測定結果のアセスメント [演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]										
第 5 回	【呼吸器系/循環器系のアセスメント】 ・呼吸器系/循環器系の基礎知識 ・呼吸器系/循環器系のフィジカルアセスメントの意義										

	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第6回	<p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の基礎知識 ・呼吸器系/循環器系のフィジカルアセスメントの意義 ・呼吸器系/循環器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第7回	<p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の問診・視診 ・肋骨・肋間の同定 ・呼吸音の聴診 ・全身の動脈触知 ・浮腫の観察 ・正常心音（Ⅰ・Ⅱ音）の聴診 ・シミュレーターによる異常呼吸音と過剰心音の聴診 ・呼吸器系/循環器系の診査結果のアセスメント <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第8回	<p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の問診・視診 ・肋骨・肋間の同定 ・呼吸音の聴診 ・全身の動脈触知 ・浮腫の観察 ・正常心音（Ⅰ・Ⅱ音）の聴診 ・シミュレーターによる異常呼吸音と過剰心音の聴診 ・呼吸器系/循環器系の診査結果のアセスメント <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第9回	<p>【骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の基礎知識 ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のフィジカルアセスメントの意義 ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第10回	<p>【骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の基礎知識 ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のフィジカルアセスメントの意義 ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第11回	<p>【骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の問診・視診

	<ul style="list-style-type: none"> ・関節可動域 (ROM) 測定 ・徒手筋力テスト (MMT) ・平衡機能、小脳機能検査 ・膝蓋腱反射 ・腹部の触診、聴診 ・瞳孔および対光反射 ・音叉による聴力検査 (リンネ・ウェーバーテスト) ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の診査結果のアセスメント <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 12 回	<p>【骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の問診・視診 ・関節可動域 (ROM) 測定 ・徒手筋力テスト (MMT) ・平衡機能、小脳機能検査 ・膝蓋腱反射 ・腹部の触診、聴診 ・瞳孔および対光反射 ・音叉による聴力検査 (リンネ・ウェーバーテスト) ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の診査結果のアセスメント <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 13 回	<p>【ヘルスアセスメント演習実技試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・技術を活用し、バイタルサイン測定の実施および記録を行う。 ・課題学習：看護師国家試験の出題や疑似問題等を通して、既習の知識の要点を整理する <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 14 回	<p>【ヘルスアセスメント演習実技試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・技術を活用し、バイタルサイン測定の実施および記録を行う。 ・課題学習：看護師国家試験の出題や疑似問題等を通して、既習の知識の要点を整理する <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、金山正子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 15 回	<p>【ヘルスアセスメント演習のまとめ】(知識・技術)</p> <p>[講義：長崎恵美子]</p>
テキスト	<p>深井喜代子 編：新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 第6版 メヂカルフレンド社 2021 3,520円</p> <p>宮脇美保子、深井喜代子 総監修：新体系看護学全書準拠 基礎看護学まとめノート 別冊解答付き (第1巻 看護学概論/臨床看護総論、第2巻 基礎看護技術Ⅰ、第3巻 基礎看護技術Ⅱ) 第1版 メヂカルフレンド社 2022 4,000円+税</p>
参考図書・教材 /データ	<p>山内豊明 著：フィジカルアセスメントガイドブック—目と手と耳でここまでわかる 医学書院 2015</p> <p>竹尾恵子 監修：看護技術プラクティス【第4版 動画付き】 学研メディカル秀潤社 2019</p>

<p>ベース・雑誌等の紹介</p>	<p>坂井建雄、岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野① 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院 2019</p> <p>茂野香おる、他 著：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I 第 17 版 医学書院 2019</p> <p>医療情報科学研究所 編：看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第 1 版 メディックメディア 2019</p> <p>橋本忠幸 著：だけでいい！フィジカルアセスメント：外来でも病棟でもこの 1 冊 メディカ出版 2023</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>小テストは採点后、次回の講義で解説または提示する。</p> <p>課題レポートや講義に関する質問は、コメントをつけて返却、または、次回の講義内で伝える。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>「ヘルスアセスメント演習」の授業では、1 年次前期から看護を学ぶための基礎として学習してきた「看護形態機能学 I・II」の知識が必要不可欠です。</p> <p>本授業では、看護の対象を観察するために必要なバイタルサイン測定技術や各器官系統別のフィジカルアセスメント技術の習得を目指します。そのためには、テキスト以外の参考図書や動画を活用し、予習・復習に加えて、自己練習の積み重ねが必須です。</p> <p>看護実践者を目指す者として主体的に学習し、日々自己の知識技術を振り返り、本科目で学ぶ知識の定着化と基本技術の習熟に努力しましょう。</p>